

第3回がん統合医療シンポジウム

「がんとともに健やかに生きる」

いまや日本人の二人に一人はがんになり、三人に一人ががんで死亡する時代です。がんを不治の病と後ろ向きに捉えるのではなく、自分の生活習慣や生き方・考え方をもう1度見直し、家族とともに健康に生きるきっかけにすることが重要です。自然治癒力を高めながら治療に取り組むことが重要です。本シンポジウムでは、自然治癒力を高めることを目的としたがん発症・再発の予防法や3大療法を補完する治療法についてわかりやすくお話しします。

講演1 がんの本質とあなたを救うセルフケア



講師 野本 篤志

NPO 法人緑の風ヘルスサポートジャパン理事長、薬劑師、薬学博士、ハーバルセラピストの会)代表、日本メディカルハーブ協会認定ハーバルセラピスト。東京薬科大学、筑波大学大学院を卒業。藤沢薬品探索研究所主任、同医学調査課部長、アステラス製薬開発本部内分泌領域プロジェクトリーダーを歴任後、母の2度目のがんの体験を機に会社を退職し、現NPO 法人やラポールの会を立ち上げ、「自分の健康は自分で守ろう！取り戻そう！」を合言葉に、統合医療の普及や生活習慣病予防の啓発活動、がん体験者やその家族へのサポート活動を行っている。現在「がんを自然退縮に導く20のセルフケア～がん増殖の壊れたアクセルとブレーキは自分自身で修復できる～(仮)」を執筆中。

講演2 がん治療革命



講師 鶴見 隆史

日本における酵素栄養学の第一人者。鶴見クリニック院長、NPO 法人鶴見酵素栄養学協会(蘇生会)理事長。金沢医科大学を卒業後、浜松医科大学に研修医として勤務する。西洋医学の対症療法的な施術に疑問を抱き、東洋医学(中医学)や鍼灸・氣功・筋診断法・栄養学・食養生などを研究。常に患者の立場に立ち、西洋医学と東洋医学を統合した「根本医学」に取り組み。1990年代後半から米国ヒューストンの酵素栄養学博士と交流を密にして酵素栄養学を学び、日本に普及させる。また、酵素栄養学を中心とした治療法(酵素療法)で成果を挙げている。主な著書は、『酵素』が病気にならない体をつくる！(青春出版社)、「癌では死なない一余命宣言をくつがえした医師たちの提言」(共著、ワニブックス)、「真実のガン治しの秘訣」(中央アート出版)など、現在28冊の書籍を出版している。

日時：2011年10月23日(日) 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場：つくば国際会議場 3階中ホール300

定員：250名 (先着順) 参加費：1,500円 (うち500円は東日本大震災復興義援金として寄付させていただきます)

《当日、会場にて東日本大震災復興支援チャリティーパーバザーを同時開催します》

【お問合せ・予約受付】

NPO 法人緑の風ヘルスサポートジャパン 土浦事務所

電話：050-1417-5964 (平日9:00～17:00)

メール：a-nomoto@kmj.biglobe.ne.jp (NPO 緑の風代表 野本)

<主催>

NPO 法人緑の風ヘルスサポートジャパン

<共催>

NPO 法人鶴見酵素栄養学協会・ラポールの会 (がん体験者とその家族の会)

<後援団体>

つくば市・土浦市・牛久市・茨城新聞・常陽新聞・常陽リビング・つくばコミュニティ放送株式会社(ラチオつくば)
筑波大学大学院人間総合科学科宗像教室・医療法人丹誠会 紫峰の森クリニック